

## 第24回 認知神経科学会学術集会

医療法人水明会佐潟荘 医局

令和元年7月13日(土)～14(日)、第24回認知神経科学会学術集会(会場:日本教育会館、会長:東京都立東部療育センター 院長 加我 牧子、副会長:国立精神・神経医療研究センター精神保健研究所 知的・発達障害研究部 部長 稲垣 真澄)に、学会員の北村医師が初日のみ参加しました。初日のプログラムは以下でしたが、たいへん興味深い多彩な内容が1日間に集約されていて、狭義の精神医学の枠を超えた知識の獲得ができました。

### <教育講演 I>

感情を生み出す脳と身体 of 相互作用

梅田 聡 (慶応義塾大学文学部心理学研究室)

### <特別講演 I>

認知症の脳機能障害と画像診断学の進歩

松田 博史 (国立精神・神経医療センター脳病態統合イメージングセンター)

## <ランチョンセミナー>

物忘れ外来に潜む高齢発症てんかん ～認知症との鑑別と関連について～

塩崎 一昌（横浜市総合保健医療センター地域精神保健部）

## <教育講演Ⅱ>

日常診療のなかで失語症状を診る意味

本村 暁（行橋記念病院 神経内科）

## <教育講演Ⅲ>

mTOR 系神経伝達と知的機能の関連

水口 雅（東京大学大学院 医学系研究科国際保健学専攻 発達医科学分野）

## <シンポジウム>

環境が変える・環境で変わる発達障害の認知機能：ミクロからマクロのエビデンス

神経細胞移動の障害が超早産児の認知機能低下に関与する可能性についての検討

久保 健一郎（慶応義塾大学医学部解剖学教室）

(極) 低出生体重児にみられる発達障害の認知機能の臨床像

高橋 立子 (五十嵐小児科・仙台赤十字病院総合周産期母子医療センター新生児科)

自閉スペクトラム症者へのヒューマノイドロボットを用いた介入の潜在性

熊崎 博一 (金沢大学子ども心の発達研究センター)

発達障害児と保護者に対するサマートリートメントの多面的有効性

山下 裕史朗 (久留米大学医学部小児科)